

指定管理業務評価表

施設名	小牧市南部コミュニティセンター		
対象年度	令和4年度	評価担当部	健康生きがい 支え合い推進部
指定管理者名	ShoPro・小牧ビルサービスグループ (小学館集英社プロダクション・小牧ビルサービス) (法人番号：9010001018924・5180001134510)		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
職員体制	常勤職員：3人 非常勤職員：6人 合計：9人		

1. 利用実績

(1) 利用者数

区分	施設利用者	個人利用者	自由来館者	合計
4月	9,546	24	992	10,562
5月	11,578	34	1,351	12,963
6月	11,718	28	1,491	13,237
7月	18,820	21	1,233	20,074
8月	10,854	25	1,347	12,226
9月	10,531	20	1,097	11,648
10月	11,612	12	1,474	13,098
11月	11,057	15	1,640	12,712
12月	9,812	14	1,267	11,093
1月	9,177	11	1,298	10,486
2月	12,489	6	1,463	13,958
3月	10,616	17	1,203	11,836
合計	137,810	227	15,856	153,893

(2) 増減要因

令和4年度の合計利用者数は153,893人となり、前年度と比較して42,695人増(前年比138.4%)となった。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大による利用制限があったため、施設利用者が平年より減少していたものの、令和4年度は利用制限がなくなった。また、イベントの開催方法を工夫するなどにより利用者数の増加となった。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	令和4年7月	回答数	220名
	令和5年1月		300名
利用者の 主な意見	男子トイレに汚物入れの注意書きが必要ではないか (例) 岩倉総合体育館		
具体的な 対応状況	令和4年度中に汚物入れについての注意書きを各トイレに掲示した。		

3. 収支の実績

(単位：千円)

		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	36,914	42,685	43,200	
	事業収入	0	0	0	
	合計	36,914	42,685	43,200	
支 出	人件費	18,557	19,700	19,985	
	旅費	34	13	20	交通費等
	需用費	7,030	8,022	8,383	光熱水費・修繕費等
	役務費	438	396	445	通信費・手数料等
	委託料	5,232	6,964	6,455	清掃警備委託等
	使用料及び 賃貸料	1,359	1,129	1,424	借上料、受信料等
	その他	4,264	6,461	6,488	間接費等
	合計	36,914	42,685	43,200	

4. 評価

項目	市の評価
運營業務	協定書、事業計画書に沿った施設管理が実施されている。 休館日等を利用して設備点検や害虫駆除などの維持管理業務が計画どおり実施されている。
維持管理 業務	清掃管理については、業務委託による清掃のほか、施設職員により日頃から清潔な施設を保つよう努められている。利用者アンケートにおいても施設・設備について清潔で安心して利用できる、といった意見もあり、良い評価が得られている。 施設の安全管理については、施設職員による自主点検が定期的に実施されており適正に管理されている。

<p>自主事業</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大により「夏祭り」を中止としたものの、規模を縮小して実施していた「秋の三世代交流会」では3年ぶりに模擬店販売を行うなど、運営協議会を中心とした地域住民が多数参加するイベントを感染対策の工夫し開催した点が評価できる。</p> <p>また、新規事業として常設の「やわらかあたま」のコーナーなどふらっと来所した利用者も施設を楽しむことができる仕組みや、「ふらみなかわらばん」にて地域企業のインタビューを掲載するなど地域の繋がりづくりにも工夫をされた。</p> <p>令和5年度も引き続き、地域と連携のうえ、施設利用者の回復・増加に繋がるような事業の企画・実施に努めること。</p>
<p>サービスの質</p>	<p>利用者アンケートの結果から利用満足度のほか、職員の対応や施設設備についても利用者から良い評価が得られている。今後も利用者がより快適に利用できる施設となるよう引き続きサービスの質の向上を図るよう努めること。</p>
<p>収支状況及び経費節減</p>	<p>収支状況については一部の費目において流用、人件費超過があったが計画的かつ適正に執行されている。</p> <p>引き続き、経費節減に努めること。</p>
<p>その他 (緊急時の対応等)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策で、施設職員による貸館利用後の消毒対応など、感染防止対策を適切に実施し、安全・安心に利用できるように配慮された。危機管理研修や安全管理担当者研修など、緊急時対応に関する施設職員の研修が計画的に実施されている。</p> <p>また、運営協議会を中心とした訓練を実施するなど地域と連携した安全管理体制が構築されていることも評価できる。</p>